

## オムロンで画像データ付きトレーサビリティを実現しませんか？

FROM

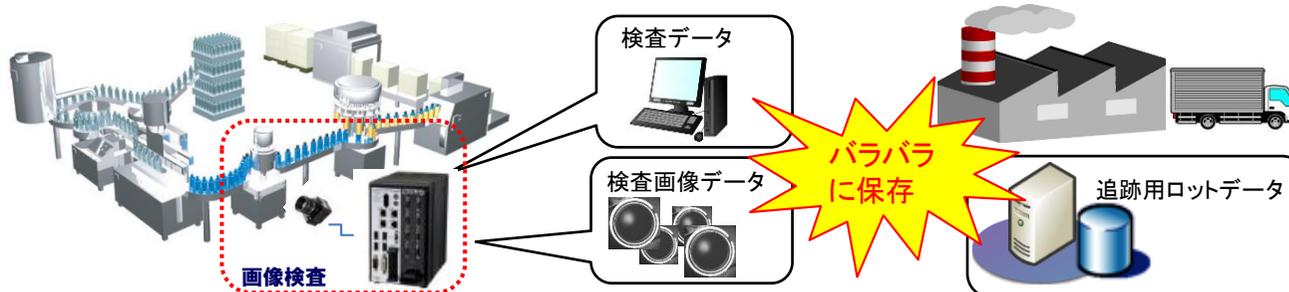


異物混入、消費期限印字などの製品検査はしているが、顧客からクレームが入った。

問題①：検査データを残しているが対象ロットの製品に検査データが紐付いていないため、顧客に収めた製品が安全であるというデータを正確に示せなかった。

問題②：製品ロットに検査データは紐付けできているものの、正しく検査したのかどうかを疑われ、その証拠を求められたが、明らかにできなかった。

その結果、全数品質に不安ありと判断され、全数回収を飲まざるを得なくなった。



TO

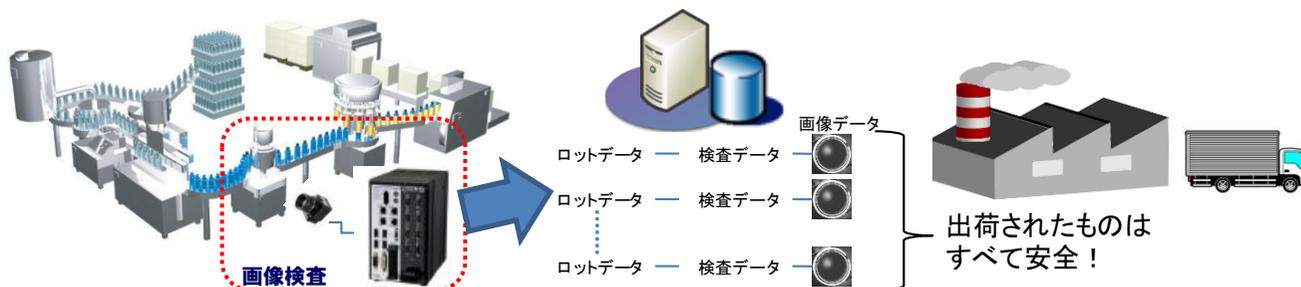


追跡用ロットデータと検査データ、画像データを紐付け一元管理できた！

解決①：不具合対象ロットの全製品の検査データを開示でき、検査データでは問題ないことが示せた。

解決②：さらに、一つ一つの検査データに対し、検査時の画像を紐付け開示できることで、正しく検査できていたことを示せた。

その結果、顧客（スーパー、コンビニ）に対して全製品が安全に出荷されたことを理解してもらい、工場責任ではないこととなった。



## 課題

異物混入や消費期限印字漏れなどの品質事故が発生した場合、十分な証拠データ（エビデンス）が示せず、大量の製品回収を行わなければならない

## 解決策

トレーサビリティデータとして、「検査データ」と「検査画像」を紐付けし、データベースで一元管理しておくことにより、製品が全数正しい状態で検査され、問題がなかったことを示す証拠データを顧客（スーパー・コンビニ）に示すことができる

## 効果

- ①製品回収リスク低減：製品出荷検査に問題がなかったことの証明
- ②製品回収量の極小化：万が一不具合品が流出してしまった場合、出荷された他の製品に問題がなかった証明
- ③顧客（スーパー・コンビニ）への信頼構築：十分なトレーサビリティを実現していることでの信頼向上

## 検査データと検査画像を紐付けすると・・・

